

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

77

2024/4



採血の際には、
患者さんご自身に生年月日とフルネームを名乗って頂き、
患者間違いを防止しています

Zoom Up!
OzuCentral Hospital

病院
案内

【当院における医療安全への取り組み】

医療技術の高度化や複雑化に伴い、医療事故防止への取り組みは更に重要となっています。医療事故はあってはならないものですが、どのような仕事であっても、人間が行う限り必ずヒューマンエラーは発生すると言われています。今年1月2日に発生した羽田空港の地上衝突事故はご記憶に新しいと思いますが、事故原因は調査中とはいえ、機体の不備によって起きたわけではなく、基本的にはヒューマンエラーに分類されるものと言われています。人間は、もともと錯覚や思い込み、勘違いなどによるヒューマンエラーを起こしやすい動物です。どのような仕事においても、人間が行う限り必ずヒューマンエラーは発生するということを前提として、発生しにくい環境を

整えることが大切です。

当院では、「良質で安全な医療の提供」を理念に掲げて、「安全・安心」という視点から、患者さんとそのご家族に質の高い医療を提供するための取り組みを行っています。今号は、当院における医療安全への取り組みについてご紹介します。

医療安全への取り組み

患者さんと医療機関の関係性のあり方は時代とともに変化しており、現代は「患者さんの同意の上での医療」「患者さんの人権・プライバシーを最大限に尊重した医療」が求められています。このような状況において、私たち医療従事者は、医療事故に正面から立ち向かい、

撲滅する努力が欠かせません。医療事故は、ともすれば個人の不注意として処理されがちですが、職場環境の問題や職務体制の不備によるもの、業務手順の未整備や各部門間の連携の不備など、病院全体として取り組むべき問題も多く含まれています。このような問題を明確にし、将来の医療事故の防止につながるためには、公開性の原則の下、現在生じているインシデント（実際には事なきを得ているが、事故に繋がりにくい状態のこと）をより科学的に分析・検討し、今後の医療体制の整備に結びつける必要があります。

当院では、病院全体の組織として医療安全管理委員会を中心に、医療事故防止対策のシステム作りを推進し、患者



医療事故防止委員が定期的にベッドサイド環境のラウンドを行い、転倒・転落防止対策を確認します。

Zoom Up!

OozuchuoHospital



【院内ラウンド】

さんが安心して受診できる医療の確立に向けて取り組んでいます。

患者間違い防止について

病院に行く度に、「何度も名前を確認されて名乗らなくてはいけないのは面倒だなあ」と思ったりすることはありませんか？このお名前の確認は、安全な医療を提供する為に欠かすことのできない大切な手順の一つです。

当院では、診察前や採血の前など様々な場面で、患者さんにお名前をフルネームで名乗って頂いて確認しています。入院の際には、リストバンドを手首に付けて頂いて点滴等をバーコードで確認すると共に、患者さんご自身にも名乗って頂きます。また、放射線科では検査の前に電子カルテで確認すると共に、検査伝票を基に患者さんに名乗って頂き氏名を照合、不具合のある部位も確認して、撮影部位の間違いを防ぐようにしています。薬剤科では、患者さんにお渡しするお薬は全てWチェック、栄養科では食事の間違いを防止するために、栄養士と調理員2名が患者氏名と食事内容のWチェックを行い、医師の指示通りに実践できているかを確認しています。

ご体調が悪い時など、何回も名前を聞かれるとご不快に思われることがあるかもしれませんが、安全な医療を受けるために、ご協力をお願いいたします。

転倒・転落防止について

病院での生活は、住み慣れたご自宅での生活とは異なります。ご入院中の患者さんは、環境の変化に加え、病気やケガによる体力や運動能力の低下などにより、思いがけない転倒やベッドからの転落等の危険性が高くなります。当院では、入院時に患者さんやご家族に、入院中の履物や過ごし方について文書やイラストで説明し、転倒・転落防止の取り組みへのご協力をお願いしています。また、ご自宅の状況を踏まえた環境整備を行い、具体的な転倒防止策を立案して、職員間でも共有し確認しています。医療安全管理者は、看護部の医療事故防止委員会と連携して院内ラウンドを行い、転倒・転落防止対策が実践されているかを確認し、その結果を現場にフィードバックしています。

スタッフトレーニング

また、年に2回、全職員を対象としたリ

スクマネジメント研修を開催し、KYT（危険予知トレーニング）を取り入れることで、リスクに関する知識と認識を深め、医療事故を未然に防止するために、職員全員が考えて取り組むことの出来る内容にしています。また、新人が入職した際にも医療安全に関する研修を行い、医療安全に対する基本的な考え方や実行可能な事故防止対策について理解を深めるようにしています。



医療安全セミナー

医療安全の基本は、職員一人ひとりが安全に対する意識を高めること、日常業務の中で確実に確認する習慣を身につけることです。しかし、個人の注意だけでは限界があるため、病院が一つの組織として事故防止対策を考え、事故を未然に防ぐシステムを構築することが重要です。

今後も、病院全体で医療の安全と質を高め、医療事故を防止するための努力を続けてまいります。

看護部長が「瑞宝双光章」を受章しました

本院の看護部長である金野朋子が、長年の功績を称えられ、令和5年秋の叙勲において瑞宝双光章を受章しました。金野は昭和49年に国立松山病院に採用され、その後、国立東京第二病院、愛媛大学医学部附属病院を経て、平成17年4月から本院で勤務しております。現在は本院の看護部長及び役員として病院の運営に携わり、看護業務の発展、後進の育成に努めております。

病院にとりましても誠に慶ばしく、心よりお祝いするとともに、ご報告させていただきます。あらためて、皆様のご支援に深く感謝申し上げます。



この度、前任の故新武子看護部長に引き継ぎ受章の栄誉に浴することができました。これも偏に、今日までお導き下さいました皆さま方のご支援とご協力の賜物と深く感謝しております。特に本院では、大久保院長先生はじめ諸先生方、赴任時から昨年までお導き下さいました寺尾前事務部長、今回のことでご尽力下さいました東事務部長、共に最前線で奮闘して下さいます師長さん方やスタッフ

の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。

看護の仕事を通じて巡り会えた職員の間はもとより、患者さまやご家族からも多くの学びを頂戴することができました。少しでも後に続く皆さまのお役にたてますよう、さまざまな経験と学びをお伝えしつつ、残された時間を大切に過ごしてまいりたいと思っています。

看護部長 金野朋子



アスパラガスと卵の炒め物

■材料 2人分

| | | |
|------------------|---|-----------------|
| アスパラガス …………… 80g | A | 薄口しょうゆ …… 小さじ1 |
| 厚揚げ …………… 40g | | みりん …………… 小さじ1 |
| 卵 …………… 1個 | | 酒 …………… 小さじ1 |
| かに風味かまぼこ …… 30g | | サラダ油 …………… 小さじ1 |
| | | 塩 …………… 少々 |

■作り方

- ①アスパラガスは、斜めに切り、塩を入れた熱湯で1分30秒茹で、ざるに上げ水分を切る。
- ②厚揚げは、熱湯を回しかけて油抜きをし、1cm幅の一口大に切る。
- ③かに風味かまぼこは、食べやすい大きさに裂く。
- ④熱したフライパンにサラダ油をひき、中火で厚揚げの両面に焼き色を付ける。
- ⑤フライパンに、アスパラガスとかに風味かまぼこを加えて炒める。
- ⑥フライパンに調味料Aを入れ、溶き卵を加えてさっと炒める。



からだに効く

レシピ

Point!

アスパラガスはβカロテン、葉酸、カリウム、食物繊維など豊富な栄養を含みます。βカロテンは皮膚や粘膜を健康に保ち、免疫を整える働きがあります。

大洲中央病院栄養科

院内美術館



『立葵』

カシニョール 作

タチアオイと、優しく微笑む女性

今回ご紹介するのは、5Fのスタッフステーション前にあるリトグラフの『立葵』。描いたのは、世界中で愛され続けるフランス画壇の巨匠カシニョールで、背景のタチアオイと女性の柔らかな肌色が調和するとともに綺麗な作品です。



カシニョール(Jean-Pierre Cassigneul) / 1935年生まれ / パリ美術学校教授ジャン・スヴェルビィに師事。1958年以来、パリを中心に世界各地で個展を開催。

次号は「棟方志巧」作「釈迦十大弟子」善隆(舍利弗、阿那律)をご紹介します。

大洲高校からのインターンシップを受け入れました

2月7日～9日に、リハビリテーション科において大洲高校の生徒たちのインターンシップ(職業体験)を受け入れました。

まず、オリエンテーションでリハビリテーションの由来や資格取得までの流れ、リハビリテーション科の1日の業務についての説明を行いました。その後、実際のリハビリを見学して貰い、リハビリに取り組む患者さんの生のお声を聞いて貰いました。また、理学療法では、片手片足での車椅子自走体験や、杖や装具を使用して歩行等を行う片麻痺体験をして貰いました。作業療法では自助具の作成を、言語聴覚療法では認知機能検査や病院食の美食なども体験して貰いました。

参加した学生からは、「今回の見学や体験を通して、リハビリへの理解が深まった」「手足が自由に使えないことの大変さが分かった」「楽しかった」等の感想がありました。当院での体験が今後の進路に役立てば幸いです。



リハビリテーション科 武知 雅之

看護学生の実習を受け入れました

2月8日～17日の間で6日間、人間環境大学松山看護学科3年生の高齢者看護学実習を受け入れました。実習の目的は、老年期を生きる人々とその家族を理解すると共に、高齢者のニーズや生活に必要な看護支援を評価して、高齢者の生活の質を高める看護実践能力を養うことです。この領域は、加速している超高齢社会においてとても大切な領域で、次年度からのカリキュラムでは実習時間が増加します。コロナ禍の影響から、今回の学生も当院が初めての医療現場での実習とのことでしたが、皆さんこれまで学校で学んだ知識をフル活用して、受け持ち患者さんが少しでも安楽に過ごせて、日常生活動作が再獲得できるように、頑張っておりました。また、患者さんも学生の頑張りによく応えて下さり、学生達は多くの学びを得て実習を終えることが出来ました。早く実習を受け入れて下さった患者さんやご家族の皆さまに、深く感謝を申し上げます。今後も、看護学生と実習を受け入れる当院の双方にとって実りの多い実習ができるように努力してまいります。

東3階病棟棟長 高岡 美智代

火災避難訓練を行いました

3月11日に火災避難訓練を行いました。今回は、大洲消防署の協力のもと、5階デイルームからの出火を想定して、通報、初期消火、避難誘導、安否確認、報告までを正しく迅速に行うことを目標に、アクションカードを使用した訓練を行いました。アクションカードとは、緊急時に集まったスタッフに配布される行動の指標となるカードのことです。個々の役割に対する具体的な指示が書き込まれており、それを読めば必要な行動が分かるようになっています。アクションカードを使用することで、一人ひとりへの細かい指示が不要になり、効率的に避難誘導ができます。今回の訓練でも、患者役のスタッフ32名を短時間で避難させることができ、効果的に活用できたと思います。訓練終了後には、消防署の方からいくつかの改善点の指導もあり、まだまだ課題もありますが、どのようなケースの災害が起きたとしても、正しく迅速に行動することが出来るよう訓練を継続していきたいと思っています。



施設管理主任 濱田 雅弘

外来診療医師一覧表

| 診療科目 | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 | 日曜 | |
|-------|--------|-------|-----|-------|-------|---------------|-------------|---------------------------------------|
| 内科 | 1診 | 上原 貴秀 | 休診日 | 大久保啓二 | 大久保啓二 | 上原 貴秀 | 大久保啓二 | |
| | 2診 | 岡本 傳男 | | 岡本 傳男 | 上原 貴秀 | 岡本 傳男 | 岡本 傳男 | |
| | 3診 | 井上 明子 | | 井上 明子 | 井上 明子 | 大久保啓二 | 非常勤 | |
| | 4診 | 浅川 建史 | | 清家 愛理 | 清家 愛理 | 非常勤 | 浅川 建史 | |
| 外科 | 1診 | 森岡 徹 | 休診日 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | |
| | 2診 | 満谷 臨 | | 満谷 臨 | 満谷 臨 | 満谷 臨 | 満谷 臨 | |
| 整形外科 | 1診 | 山下 優嗣 | | 休診日 | 山下 優嗣 | 山下 優嗣 | 愛大医師 | 山下 優嗣 |
| | 2診 | | | | | | | 非常勤 |
| 泌尿器科 | | 清水 公治 | 休診日 | | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 |
| 脳神経外科 | 1診(新患) | 相原 寛 | | | 西原 潤 | 相原 寛 | 重川 誠二 末廣 | 橋本 尚樹(第1) 重川 誠二(第3) 戸田 茂樹(第2-4) |
| | 2診(再診) | 後出 一郎 | | 相原 寛 | 西原 潤 | 森 秀樹 泉本真美子 | | |
| 形成外科 | | | | 休診日 | | | | |

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～
担当医師は緊急手術等で変更する場合(休診になる場合)がありますので、事前にお問い合わせ下さい。
 整形外科は外来診療、救急対応、手術、入院管理等を常勤医師1名で行っています。
 状況により外来休診、予約患者のみの受付となる日があることを予めご了承下さい。

休診日 (4～7月) 救急診療のみ… 5月3日(金)、5月4日(土)、5月5日(日)
 休診日… 火曜、水曜、4月29日(月)、7月15日(月)

お見舞い・面会時間 午後2時00分～午後5時00分
(感染症予防のため変更になる可能性がありますので、事前にお問い合わせください。)

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院 (日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜総合病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜総合病院(夜)

編集後記

私がHOKUTO TIMESに携わるようになって、ちょうど10年になりました。このタイミングで編集後記を書くことになったことに、何かしらの縁を感じざるを得ません。10年前、まだ入職して間もなかった頃は右も左も分からない状態でしたが、体力に任せて速二無二駆け回っていました。10年経った今は、無駄なく動けるようになった反面、少々健康面の不安を感じることも出てきました。健康にも気を付けつつ、気持ちはフレッシュなままで、毎日元気に仕事に励みたいと思います。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
 編集/広報委員会

- 東 研志(事務部長) / 京河 雅史(放射線科科長) / 竹岡 照枝(看護師長)
- 道休 由佳里(看護師長) / 木村 優志(リハビリテーション科) / 大西 修平(リハビリテーション科) / 藤岡 真里子(栄養科) / 黒田 都(医事課主任) / 九鬼 宏美(総務課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

